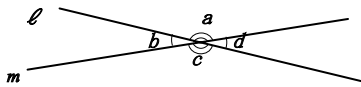


図形2-1 角の性質

学習日 月 日 ()

1 図のように、2直線 ℓ , m が交わっています。このとき、次の各問いに答えなさい。



(1) $\angle a$ と $\angle c$ のように向かい合っている角のことを何というでしょう。

たいちょうかく
対頂角

(2) $\angle a$ が 152° のとき、 $\angle b$, $\angle c$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

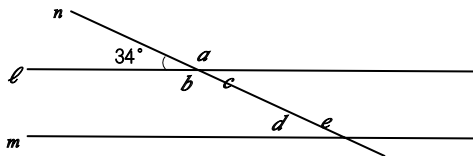
対頂角は等しい

180-152

$\angle b = 28^\circ$

$\angle c = 152^\circ$

2 図のように、2本の平行な直線 ℓ , m に、直線 n が交わっています。このとき、次の各問いに答えなさい。



(1) $\angle a$ と $\angle b$ のように向かい合っている角のことを何というでしょう。

たいちょうかく
対頂角

(2) $\angle a$ と $\angle e$ のような位置にある2つの角のことを何というでしょう。

どういかく
同位角

(3) $\angle c$ と $\angle d$ のような位置にある2つの角のことを何というでしょう。

さっかく
錯角

(4) $\angle a$, $\angle b$, $\angle c$, $\angle d$, $\angle e$ の大きさを、それぞれ求めなさい。

180-34

対頂角は等しい

180-34

$\angle a = 146^\circ$

$\angle b = 146^\circ$

$\angle c = 34^\circ$

同位角は等しい

$\angle d = 34^\circ$

$\angle e = 146^\circ$

()には角の名前が入るよ。わかるかな？



2つの直線に1つの直線が交わる時、次のことが成り立つ。

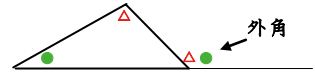
- ① 2つの直線が平行ならば、
(**同位角**), (**錯角**) は等しい。
- ② (**同位角**), (**錯角**) が等しいならば、
この2つの直線が平行である。

()には角の大きさが入るよ。わかるかな？



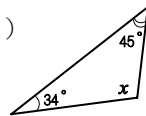
① 三角形の3つの内角の和は (180°) である。

② 三角形の1つの外角は、それととなり合わない2つの内角の和に等しい。



3 次の図で、 $\angle x$, $\angle y$ の大きさを求めなさい。

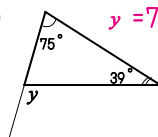
(1)



$x = 180 - (34 + 45)$
 $= 180 - 79$
 $= 101$

$\angle x = 101^\circ$

(2)



$y = 75 + 39 = 114$

$\angle y = 114^\circ$

()には数式や角の大きさが入るよ。わかるかな？

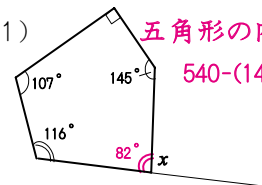


① n角形の内角の和は、 $180^\circ \times (n - 2)$ である。

② 多角形の外角の和は、(360°) である。

4 次の図で、 $\angle x$, $\angle y$, $\angle z$, $\angle w$ の大きさを求めなさい。

(1)

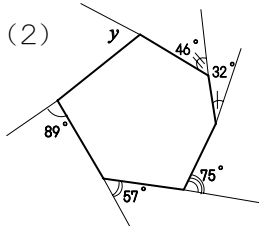


五角形の内角の和は $180 \times 3 = 540^\circ$

$540 - (145 + 90 + 107 + 116) = 82$ $180 - 82 = 98$

$\angle x = 98^\circ$

(2)

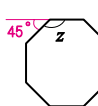


多角形の外角の和は 360°

$360 - (89 + 57 + 75 + 32 + 46) = 61$

$\angle y = 61^\circ$

(3) 正八角形の1つの内角 $\angle z$



(解1) 八角形の内角の和は $180 \times 6 = 1080$

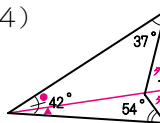
$1080 \div 8 = 135$

(解2) 外角より

$360 \div 8 = 45$ $180 - 45 = 135$

$\angle z = 135^\circ$

(4)



$\bullet + \blacktriangle = 42^\circ$

$w = \text{外角ア} + \text{外角イ}$

$= (37 + \bullet) + (\blacktriangle + 64)$

$= 37 + 42 + 64 = 133$

$\angle w = 133^\circ$

くさび形(ブーメラン形)の法則

(ヒント:どこかに1本補助線をひく)

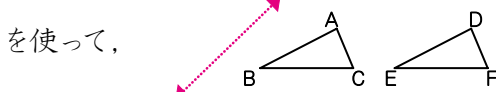
図形2-2 三角形の合同条件と証明

学習日 月 日 ()

1 次の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。

(1) 2つの図形がぴったり重なるとき、これらの図形は(**合同**)であるという。このとき、重なり合う頂点、辺、角を、それぞれ(**対応**)する頂点、辺、角という。

(2) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が合同であることを、記号を使って、



$\triangle ABC$ (\equiv) $\triangle DEF$ と表す。

(=イコールとまちがえない！)

(3) あることがらが成り立つわけを、すじ道を立てて明らかにすることを(**証明**)という。その中で、^{あた}与えられてわかっていることを(**仮定**)、^{けつろん}導こうとしていることを(**結論**)という。

()にあてはまる言葉がわかるかな？

- ① 合同な図形では、対応する線分の長さは(**等しい**)。
- ② 合同な図形では、対応する角の大きさは(**等しい**)。

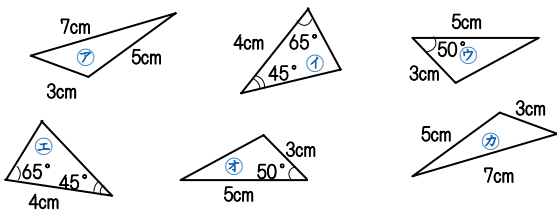
★ 三角形の合同条件 ★

()にあてはまる言葉がわかるかな？

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき合同である。

- ① (**3辺**) がそれぞれ等しい。
- ② (**2辺とその間の角**) がそれぞれ等しい。
- ③ (**1辺とその両端の角**) がそれぞれ等しい。

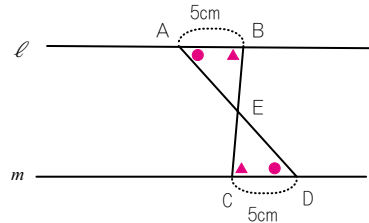
2 下の図の三角形を、合同な三角形の組に分け、記号で答えなさい。また、そのときに使った合同条件をいいなさい。



⑦と②	合同条件	3辺がそれぞれ等しい
①と⑤	合同条件	1辺とその両端の角がそれぞれ等しい
⑦と③	合同条件	2辺とその間の角がそれぞれ等しい

3 図のように、2本の平行な直線 ℓ , m を引き、直線 ℓ 上に $AB = 5\text{cm}$ となるように2点 A, B をとる。同様に、直線 m 上に $CD = 5\text{cm}$ となるように2点 C, D をとり、2直線 AD, BC の交点を E とする。

この図で、合同な三角形の証明を次のようにしました。()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



証明の際には、対応する頂点、辺、角をおさてかこう！



(証明)

$\triangle ABE$ と ($\triangle DCE$) で、

仮定より、 $AB = (DC) \dots ①$

2直線が平行なので、錯角は等しいから、

$\angle BAE = (\angle CDE) \dots ②$ (図の●)

($\angle ABE$) = $\angle DCE \dots ③$ (図の▲)

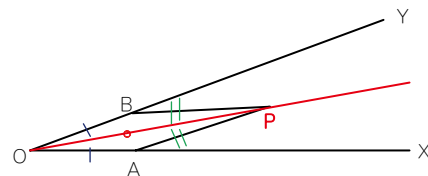
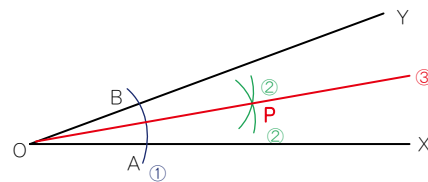
①, ②, ③より、(**1辺とその両端の角**) がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABE \equiv (\triangle DCE)$ (証明終)

(注) この図で、対頂角は等しいので、 $\angle AEB = \angle DEC$ ですが、今回の証明には使いませんでした。

4 $\angle XOY$ の二等分線の作図では、図のように①～③の手順で直線 OP を引きます。

このことを次のように証明しました。()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

A と P , B と P を結ぶ。

$\triangle OAP$ と ($\triangle OBP$) で、

仮定より、 $OA = (OB) \dots ①$

(AP) = $BP \dots ②$

共通な辺だから、(OP) = (OP) $\dots ③$

①, ②, ③より、(**3辺**) がそれぞれ等しいので、

$\triangle OAP \equiv (\triangle OBP)$

合同な図形では、対応する角の大きさは等しいので、

$\angle AOP = (\angle BOP)$

よって、 $\angle XOP = (\angle YOP)$ (証明終)

1 次の()にあてはまる言葉を答えなさい。

(1) 2つ辺が等しい三角形を(二等辺三角形)という。

3つ辺がすべて等しい三角形を(正三角形)という。

□のように、使うことばの意味をはっきり述

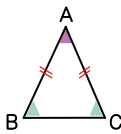
べたものを(定義)という。

(2) 図の $AB=AC$ である二等辺三角形 ABC で、

等しい辺のつくる角 $\angle A$ を(頂角)。

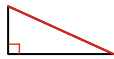
$\angle A$ に対する辺 BC を(底辺)。

底辺の両端の角 $\angle B$ と $\angle C$ を(底角)という。



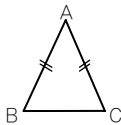
(3) 直角三角形で、直角に対する辺を(斜辺)

という。



2 ⑦二等辺三角形の2つの底角は等しい。

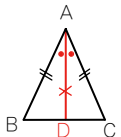
このことからについて、次の各問いに答えなさい。



(1) 図のように、 $AB=AC$ の二等辺三角形を考えると、⑦のことがらの仮定と結論を記号でいいなさい。

仮定 $AB=AC$ | 結論 $\angle B=\angle C$

(2) ⑧のことがらの証明をした次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

$\angle A$ の二等分線をひき、 BC との交点を D とする。

$\triangle ABD$ と($\triangle ACD$)で、

仮定より、 $AB = (AC)$...①

($\angle BAD$) = $\angle CAD$...②

共通な辺だから、(AD) = (AD) ...③

①、②、③より、(2辺とその間の角) がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABD \equiv (\triangle ACD)$

合同な図形では、対応する角の大きさは等しいので、 $\angle ABD = (\angle ACD)$ つまり、 $\angle B = (\angle C)$ (証明終)

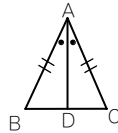
(3) ⑦のように、証明されたことがらのうち、基本となる大切なものを何というか答えなさい。

定理(ていり)

3

①二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。

このことがらの証明をした次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

$\angle A$ の二等分線と BC との交点を D とする。

($\triangle ABD$) と $\triangle ACD$ で、

仮定より、 (AB) = AC ...①

$\angle BAD = (\angle CAD)$...②

共通な辺だから、(AD) = (AD) ...③

①、②、③より、(2辺とその間の角) がそれぞれ等しいので、

($\triangle ABD$) $\equiv \triangle ACD$

合同な図形では、対応する辺の長さや角の大きさは等しいので、

(BD) = CD ...④

($\angle ADB$) = $\angle ADC$...⑤

⑤と $\angle ADB + \angle ADC = (180)^\circ$ より、

($\angle ADB$) = $\angle ADC = (90)^\circ$

つまり、(AD) $\perp BC$...⑥

④、⑥より、二等辺三角形の頂角の二等分線は、底辺を垂直に2等分する。(証明終)



重要な定理!

4 ⑦2つの角が等しい三角形は、二等辺三角形である。

このことからについて、次の各問いに答えなさい。

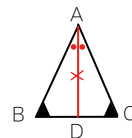
(1) 2の⑦と4の⑧の関係を何というか

答えなさい。

仮定と結論が入れかわっている!

逆(ぎゃく)

(2) ⑧のことがらの証明をした次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明) 図のように、 $\angle B = \angle C$ の二等辺三角形 ABC で、 $\angle A$ の二等分線をひき、 BC との交点を D とする。

$\triangle ABD$ と($\triangle ACD$)で、

仮定より、 $\angle ABD = (\angle ACD)$...①

$\angle BAD = (\angle CAD)$...②

三角形の内角の和は 180° だから、①、②から、

$\angle ADB = (\angle ADC)$...③

共通な辺だから、(AD) = (AD) ...④

②、③、④より、(1辺とその両端の角) がそれぞれ等しいので、 $\triangle ABD \equiv (\triangle ACD)$

よって、 $AB = (AC)$ (証明終)

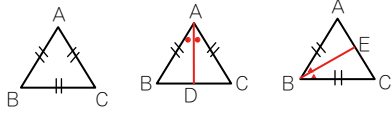
図形2-4 三角形の性質と証明(2)

学習日 月 日()

1 定義:3つの辺がすべて等しい三角形を正三角形という。

定理1:正三角形の3つの角は等しい。

定義を用いて定理1が成り立つことを証明した次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

∠Aの二等分線をひき、BCとの交点をDとする。

△ABDと(△ACD)で、

仮定より、AB = (AC) …①

(∠BAD) = ∠CAD …②

共通な辺だから、(AD) = (AD) …③

①, ②, ③より、(2辺とその間の角)がそれぞれ等しいので、

△ABD ≅ (△ACD)

∠ABD = (∠ACD)つまり、∠B = (∠C) …④

同様に、

∠Bの二等分線をひき、ACとの交点をEとする。

△ABEと(△CBE)で、

仮定より、AB = (CB) …⑤

∠ABE = (∠CBE) …⑥

共通な辺だから、(BE) = (BE) …⑦

⑤, ⑥, ⑦より、(2辺とその間の角)がそれぞれ等しいので、

△ABE ≅ (△CBE)

∠BAE = (∠BCE)つまり、∠A = (∠C) …⑧

④, ⑧より、∠A = ∠B = ∠C (証明終)

(注) 定理1の逆の定理2も成り立つ。(証明省略)

定理2:3つの角がすべて等しい三角形は正三角形である。

★直角三角形の合同条件★

()にあてはまる言葉がわかるかな?



2つの直角三角形は、次のどれかが成り立つとき合同である。

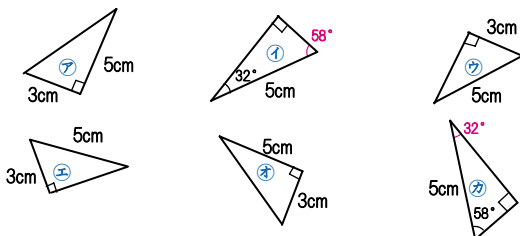
① (斜辺と1つの鋭角)がそれぞれ等しい。



② (斜辺と他の1辺)がそれぞれ等しい。



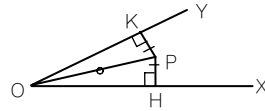
2 下の図の三角形を、合同な三角形の組に分け、記号で答えなさい。また、そのときに使った合同条件をいいなさい。



⑦と⑧	合同条件 三角形の2辺とその間の角がそれぞれ等しい。
①と②	合同条件 直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しい。
②と③	合同条件 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しい。

3 定理3:∠XOYの内部の点Pから、2辺OX, OYにひいた垂線PH, PKの長さが等しいとき、OPは∠XOYを二等分する。

定理3が成り立つことを証明した次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

△OPHと(△OPK)で、

仮定より、PH ⊥ (OX), (PK) ⊥ OYより、

∠PHO = (∠PKO) = 90° …①

また、仮定より、PH = (PK) …②

共通な辺だから、(OP) = (OP) …③

①, ②, ③より、直角三角形の(斜辺と他の1辺)がそれぞれ等しいので、

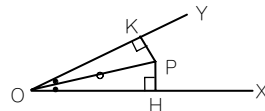
△OPH ≅ (△OPK)

よって、∠POH = (∠POK)

つまり、OPは∠XOYを2等分する。(証明終)

4 定理4:∠XOYの二等分線上の点Pから、2辺OX, OYに垂線PH, PKをひくとき、PH=PKである。

定理3の逆の定理4も成り立つことを証明した次の文の()に、あてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

△OPHと(△OPK)で、

仮定より、PH ⊥ (OX), (PK) ⊥ OYより、

∠PHO = (∠PKO) = 90° …①

また、仮定より、∠POH = (∠POK) …②

共通な辺だから、(OP) = (OP) …③

①, ②, ③より、直角三角形の(斜辺と1つの鋭角)がそれぞれ等しいので、

△OPH ≅ (△OPK)

よって、PH = (PK) (証明終)

5 次のことがらの逆をいいなさい。逆は正しいとは限らない。

また、それが正しいかもいいなさい。

(1) 三角形ABCで、∠A = 90°ならば三角形

ABCは直角三角形である。 (∠B = 90°や∠C = 90°もある。)

三角形ABCが直角三角形ならば∠A = 90°である。 正しくない

(2) 整数a, bがともに正ならば積abは正である。

積abが正ならば整数a, bはともに正である。 正しくない

a, bがともに負のときもある

図形2-5 四角形の性質と証明

学習日 月 日 ()

1 次の四角形の定義を表した文の()にあてはまる言葉を答えなさい。

2組の向かい合う辺がそれぞれ平行な四角形を(**平行四辺形**)という。

4つの角がすべて等しい四角形を(**長方形**)という。

4つの辺がすべて等しい四角形を(**ひし形**)という。

4つの角がすべて等しく、4つの辺がすべて等しい四角形を(**正方形**)という。



絵の中の平行四辺形をさがしてみよう!



※「なまこ壁」は、蔵などの壁に防火・防水のために瓦を並べ、その継ぎ目を漆喰で盛り上げて固めた壁のことです。鳥取県中部地区に多く見られ、その美しい景観は鳥取県の魅力のひとつです。貴重な技や文化の伝統を引き継いでいきたいものです。

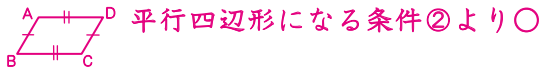
★平行四辺形になるための条件★
()にあてはまる言葉がわかるか



- 四角形は、次のどれかが成り立つとき平行四辺形である。
- ① (2組の向かい合う辺) がそれぞれ平行である。(定義)
 - ② (2組の向かい合う辺) がそれぞれ等しい。
 - ③ (2組の向かい合う角) がそれぞれ等しい。
 - ④ (対角線) がそれぞれの(中点)で交わる。
 - ⑤ (1組の向かい合う辺) が平行でその長さが等しい。

2 次の四角形 ABCD で、平行四辺形といえるのはどれでしょう。記号で答えなさい。

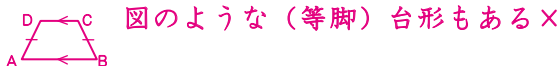
㉞ $AB = CD, AD = BC$ 図をかいて考えよう



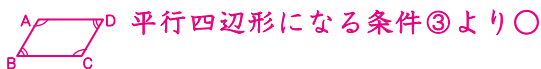
㉟ $\angle A = \angle B, \angle C = \angle D$



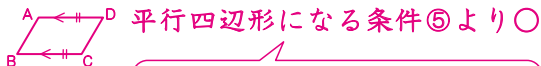
㊱ $AB \parallel CD, AD = BC$



㊲ $\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$

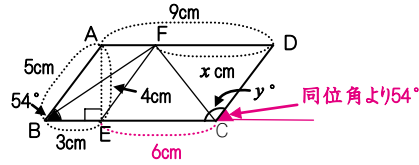


㊳ $AD = BC, AD \parallel BC$



よって、㉞、㊲、㊳
①、②のように、成り立たないことをいうには1つ例(反例)を示せばよい。

3 図のような平行四辺形 ABCD において、 $AB \parallel FE$ である。このとき、次の各問いに答えなさい。



(1) x, y の値を求めなさい。

$$x = 9 - 3 = 6 \text{ cm}$$

$$y = 180 - 54 = 126^\circ$$

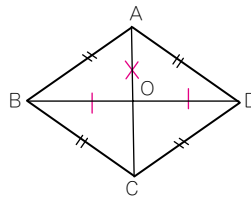
(2) $\triangle FEC$ の面積を求めなさい。

(底辺)(高さ)

$$\triangle FEC = \frac{1}{2} \times 6 \times 4 = 12 \text{ cm}^2$$

4 ひし形の対角線は直交する。

この定理を証明した次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明)

ひし形 ABCD の対角線 AC, BD をひき、その交点を O とする。

$\triangle ABO$ と $\triangle ADO$ で、

定義より、 $AB = (AD) \dots ①$

平行四辺形の対角線は中点で交わるから、

$BO = (DO) \dots ②$

共通な辺だから、 $(AO) = (AO) \dots ③$

①, ②, ③ より、(3辺) がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABO \equiv (\triangle ADO)$

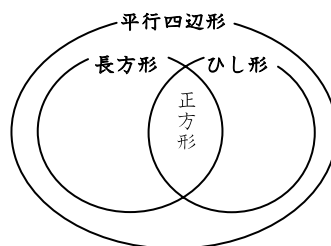
よって、 $\angle AOB = (\angle AOD) \dots ④$

また、 $\angle AOB + \angle AOD = (180)^\circ \dots ⑤$

④, ⑤ より、 $\angle AOB = \angle AOD = (90)^\circ$

したがって、 $AO \perp (BD)$

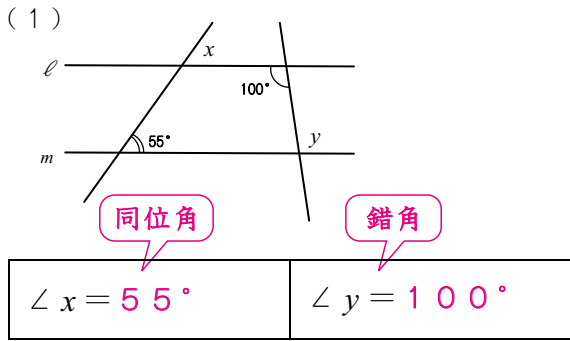
つまり、 $AC \perp (BD)$ (証明終)



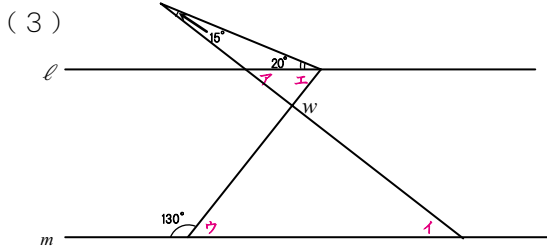
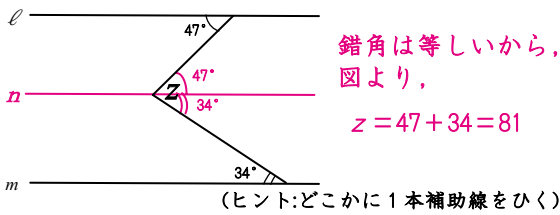
ひし形は平行四辺形でもあるね!



1 次の図で、 $l \parallel m$ のとき、 $\angle x$ 、 $\angle y$ 、 $\angle z$ 、 $\angle w$ の大きさを求めなさい。

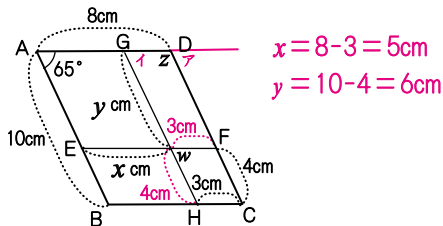


(2) 図のように、 $l \parallel m \parallel n$ となる補助線 n をひく。



ア = $15 + 20 = 35^\circ$ 錯角だから、イ = ア = 35°
 ウ = $180 - 130 = 50^\circ$
 エ = ウ = 50° (錯角)
 w = ア + エ = 85°

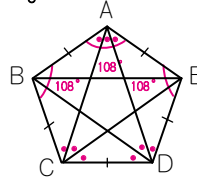
2 図のような平行四辺形 ABCD において、 $AD \parallel EF$ 、 $AB \parallel GH$ である。このとき、 x 、 y の値、 $\angle z$ 、 $\angle w$ の大きさを求めなさい。



ア = 65° (同位角)より、
 $z = 180 - 65 = 115^\circ$
 イ = 65° (同位角)より、 $w = 65^\circ$ (イと同位角)

$x = 5 \text{ cm}$	$y = 6 \text{ cm}$
$\angle z = 115^\circ$	$\angle w = 65^\circ$

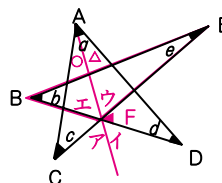
3 正五角形 ABCDE について、次の各問いに答えなさい。



(1) 1つの内角の大きさを求めなさい。
五角形の内角の和 $180 \times 3 = 540^\circ$ $540 \div 5 = 108^\circ$
 (2) 図のように対角線を引いて星形正五角形をつくる。このとき、三角形 ACD が二等辺三角形であることを証明した次の文の()にあてはまる言葉や記号を答えなさい。

(証明)
 $\triangle ABC$ と $(\triangle AED)$ で、
 仮定より、 $AB = (AE)$...①
 $BC = (ED)$...②
 $\angle ABC = (\angle AED)$...③
 ①、②、③より、(**2辺とその間の角**) がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABC \equiv (\triangle AED)$
 よって、 $AC = (AD)$ つまり、
 $\triangle ACD$ は二等辺三角形である。 (証明終)

(3) $\angle CAD$ および $\angle ACD$ の大きさを求めなさい。
 $\angle BAC = \angle EAD = (180 - 108) \div 2 = 36^\circ$
 よって、 $\angle CAD = 108 - 36 - 36 = 36^\circ$
 同様に、 $\angle ACD = 108 - 36 = 72^\circ$
 (4) 星形正五角形の5つの頂角の和を求めなさい。
 $5 \times \angle CAD = 5 \times 36 = 180^\circ$



一般の星形五角形の頂角の和はいくらかな?
 180° (説明は下です。)



図のように補助線をひく。
 この他にも、いろんな性質を発見して、星形多角形の頂角の和の博士になるう！六角形、七角形、八角形はどうか？
 $a = \bigcirc + \triangle$...① で、
 $a = \bigcirc + c$, $i = \triangle + d$
 また、対頂角は等しいので、
 $u = a = \bigcirc + c$, $e = i = \triangle + d$...②
 図のように、直線 BD と直線 CE の交点を F とすると、 $\triangle BFE$ の内角の和は 180° だから、
 $b + e + u + e = 180^\circ$ で、②を代入して、
 $b + e + \bigcirc + c + \triangle + d = 180^\circ$
 これに①を代入して整理すると、
 $a + b + c + d + e = 180^\circ$

図形3-1 相似な図形

学習日 月 日 ()

()にあてはまる言葉がわかるかな？

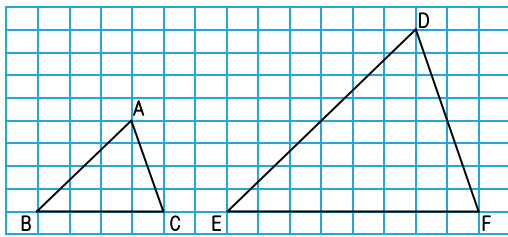


- (1) ある図形を、形を変えないで一定の割合に拡大、または縮小して得られる図形は、もとの図形と①(相似)であるという。
 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ が①の関係であることを、記号を使って $\triangle ABC \sim \triangle DEF$ と表す。
- (2) ①の関係にある2つの図形では、対応する辺の長さの②(比)はすべて等しく、対応する角の大きさはそれぞれ等しい。
 このとき、対応する辺の長さの②を(相似比)という。



(1)のヒント：似ているという意味の熟語だよ。
 記号はsimilar(似ている)の頭文字を横にしたものといわれているよ。

1 下の図で、 $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ は相似です。このとき、次の各問いに答えなさい。



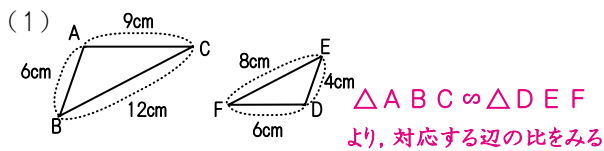
(1) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の対応する辺の長さの比をすべて求めなさい。

$AB:DE = 1:2, BC:EF = 1:2, CA:FD = 1:2$

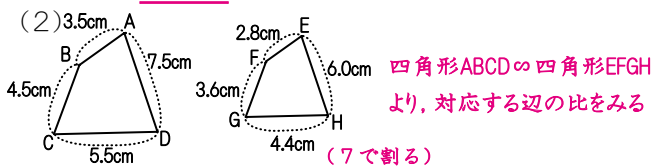
(2) $\triangle ABC$ と $\triangle DEF$ の相似比を求めなさい。

1:2

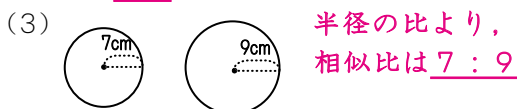
2 次のような相似な図形の相似比を、それぞれ求めなさい。



$AB:DE = 6:4, BC:EF = 12:8, CA:FD = 9:6$ より、
 相似比は 3:2



$AB:EF = 3.5:2.8 = 35:28 = 5:4$ より、
 相似比は 5:4 (10倍する)



★比の性質★

$a:b=c:d$ ならば $ad=bc$

外側の積と内側の積は等しいよ!

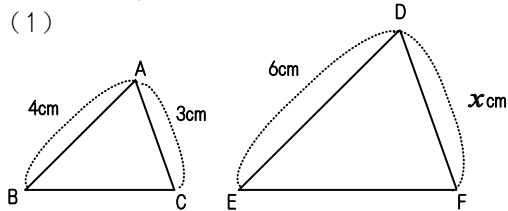


3 次の x の値を求めなさい。

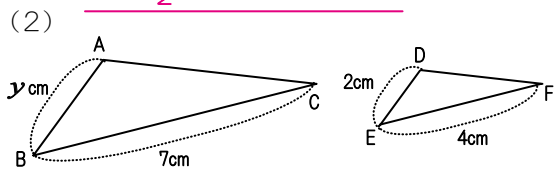
(1) $x:3=4:5$
 $5 \times x = 3 \times 4$
 $x = \frac{12}{5}$ (2.4)

(2) $2:9=x:3$
 $9 \times x = 2 \times 3$
 $x = \frac{6}{9}$
 $x = \frac{2}{3}$

4 下の図で、 $\triangle ABC \sim \triangle DEF$ であるとき、次の x, y の値を求めなさい。

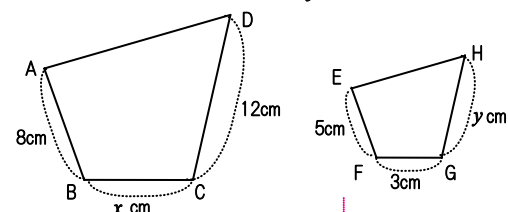


$AB:DE = AC:DF$ より、 $4:6 = 3:x$
 $4 \times x = 6 \times 3$ より、 $x = \frac{18}{4}$
 $x = \frac{9}{2}$ (4.5) cm



$AB:DE = BC:EF$ より、 $y:2 = 7:4$
 $4 \times y = 2 \times 7$ より、 $y = \frac{14}{2}$
 $y = 7$ (3.5) cm

5 下の図で、四角形 $ABCD \sim$ 四角形 $EFGH$ であるとき、次の x, y の値を求めなさい。



$AB:EF = BC:FG$ より、
 $8:5 = x:3$
 $5 \times x = 8 \times 3$
 $x = \frac{24}{5}$ (4.8) cm

$AB:EF = CD:GH$ より、
 $8:5 = 12:y$
 $8 \times y = 5 \times 12$
 $y = \frac{15}{2}$ (7.5) cm

相似な2つの図形の相似比が1:1のとき、この2つの図形の関係を何というかな？

合同



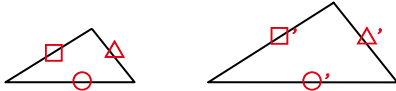
()にあてはまる言葉がわかるかな？



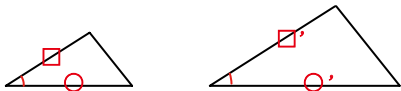
★三角形の相似条件★

2つの三角形は、次のどれかが成り立つとき相似である。

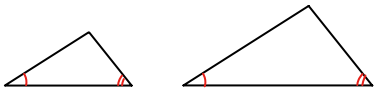
① (3組の辺の比) がすべて等しい。



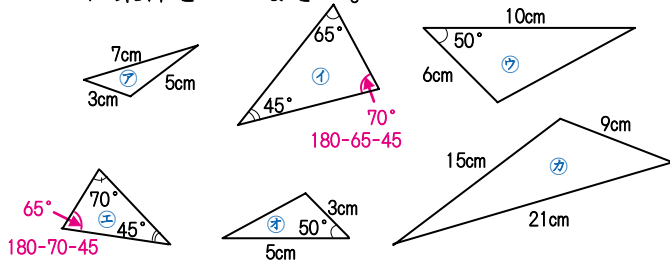
② (2組の辺の比とその間の角) がそれぞれ等しい。



③ (2組の角) がそれぞれ等しい。



1 下の図の三角形を、相似な三角形の組に分け、記号で答えなさい。また、そのときに使った相似条件をいいなさい。

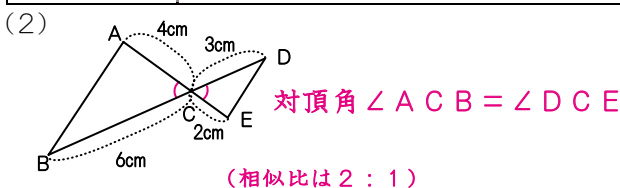


⑦と②	相似条件	3組の辺の比がすべて等しい。
①と⑤	相似条件	2組の角がそれぞれ等しい。
⑥と④	相似条件	2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。

2 下の図において、相似な三角形を記号を使って表しなさい。また、そのときに使った相似条件をいいなさい。

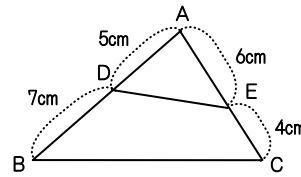


相似な三角形	$\triangle ABC \sim \triangle EFD$
相似条件	3組の辺の比がすべて等しい。



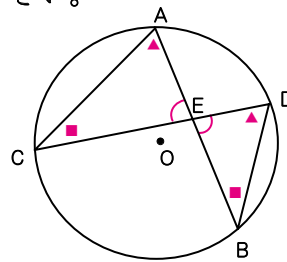
相似な三角形	$\triangle ABC \sim \triangle EDC$
相似条件	2組の辺の比とその間の角がそれぞれ等しい。

3 下の図で、 $\triangle ABC$ の $\triangle AED$ であることを証明した次の文の () にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明) $\triangle ABC$ と ($\triangle AED$) で、
 $AB : AE = (2) : (1) \dots \text{①}$
 $AC : AD = (2) : (1) \dots \text{②}$
 共通な角だから、 $\angle BAC = (\angle EAD) \dots \text{③}$
 ①, ②, ③より、(2組の辺の比とその間の角) がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABC \sim (\triangle AED)$ (証明終)

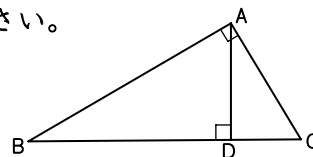
4 下の図のように、円Oに2つの弦AB, CDをひき、その交点をEとする。このとき、 $\triangle ACE$ の $\triangle DBE$ であることを証明した次の文の () にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明) $\triangle ACE$ と ($\triangle DBE$) で、
 \widehat{CB} に対する円周角は等しいから、
 $\angle CAE = (\angle BDE) \dots \text{①}$
 対頂角は等しいから、
 $\angle AEC = (\angle DEB) \dots \text{②}$
 ①, ②より、(2組の角) がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ACE \sim (\triangle DBE)$ (証明終)

(注) \widehat{AD} に対する円周角 $\angle ACE = \angle DBE$ は省略した。

5 $\angle A = 90^\circ$ である直角三角形ABCで、点Aから辺BCに垂線ADをひく。このとき、 $\triangle ABC$ の $\triangle DBA$ であることを証明した次の文の () にあてはまる言葉や記号を答えなさい。



(証明) $\triangle ABC$ と ($\triangle DBA$) で、
 直角だから、 $\angle BAC = (\angle BDA) \dots \text{①}$
 共通な角だから、 $\angle ABC = (\angle DBA) \dots \text{②}$
 ①, ②より、(2組の角) がそれぞれ等しいので、
 $\triangle ABC \sim (\triangle DBA)$ (証明終)

図形3-3 平行線と線分の比

学習日 月 日 ()

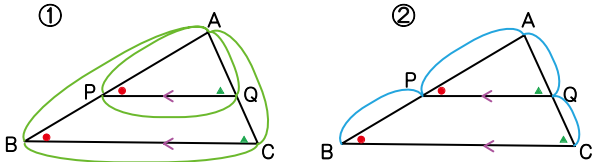
★三角形と辺の比★

△ABCの辺AB, AC上に、それぞれ、点P, Qがあり、PQ//BCならば、次が成り立つ。

① $AP : AB = AQ : AC = PQ : BC$

② $AP : PB = AQ : QC$

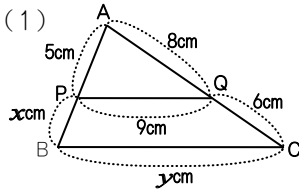
(注) ①, ②は逆も成り立つ。



1 上の「三角形と辺の比の性質①」が成り立つことを証明した次の文の () にあてはまる言葉や記号を答えなさい。

(証明) △APQと(△ABC)で、
PQ//BCより、同位角は等しいので、
∠APQ = (∠ABC) …①
∠AQP = (∠ACB) …②
①, ②より、(2組の角) がそれぞれ等しいので、
△APQ ∽ (△ABC)
対応する辺の比はそれぞれ等しいので、
 $AP : AB = AQ : AC = PQ : BC$ (証明終)

2 下の図で、PQ//BCのとき、x, yの値を求めなさい。



$$5 : (5 + x) = 8 : 14$$

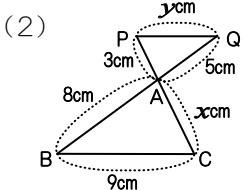
$$8(5 + x) = 5 \times 14$$

$$x = \frac{15}{4}$$

$$9 : y = 8 : 14$$

$$8y = 9 \times 14$$

$$y = \frac{63}{4}$$



$$3 : x = 5 : 8$$

$$5x = 3 \times 8$$

$$x = \frac{24}{5}$$

$$y : 9 = 5 : 8$$

$$8y = 9 \times 5$$

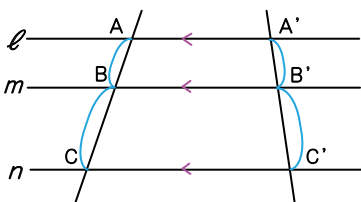
$$y = \frac{45}{8}$$

★平行線と線分の比★

3つの平行な直線ℓ, m, nに、2つの直線が図のように交わっているとき、次が成り立つ。

$$AB : BC = A'B' : B'C'$$

(注) 逆も成り立つ。証明は省略。



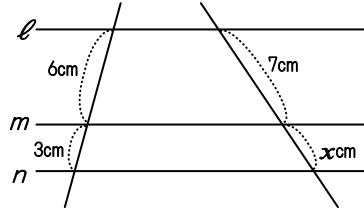
3 下の図で、ℓ//m//nのとき、x, yの値を求めなさい。

(1) $6 : 3 = 7 : x$

$$6x = 3 \times 7$$

$$x = \frac{21}{6}$$

$$x = \frac{7}{2}$$

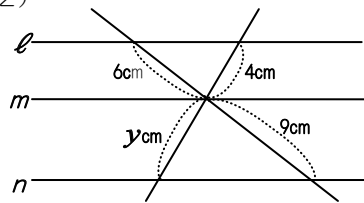


(2) $4 : y = 6 : 9$

$$6y = 4 \times 9$$

$$y = \frac{36}{6}$$

$$y = 6$$



()にあてはまる記号や数式がわかるかな?



★中点連結定理★

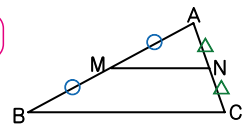
△ABCの2辺AB, ACの中点を、それぞれ、M, Nとすると、次の関係が成り立つ。

$$MN (//) BC$$

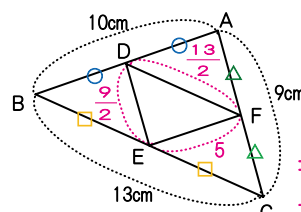
$$MN = \left(\frac{1}{2}\right) BC$$

平行

長さが半分



4 下の図のように、△ABCの辺AB, BC, CAの中点を、それぞれ、D, E, Fとすると、△DEFの周の長さを求めなさい。



$$DF = \frac{1}{2} BC,$$

$$DE = \frac{1}{2} AC,$$

$$EF = \frac{1}{2} AB \text{ より,}$$

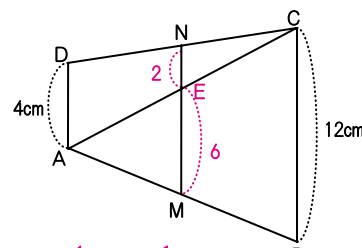
$$DF + DE + EF$$

$$= \frac{1}{2} BC + \frac{1}{2} AC + \frac{1}{2} AB$$

$$= \frac{1}{2} (BC + AC + AB)$$

$$= \frac{1}{2} (13 + 9 + 10) = \frac{1}{2} \times 32 = 16 \text{ cm}$$

5 下の図のように、AD//BCの台形ABCDの、AB, CDの中点を、それぞれ、M, Nとすると、線分MNの長さを求めなさい。



図のように、線分ACと線分MNの交点をEとする。

$$EN = \frac{1}{2} AD = \frac{1}{2} \times 4 = 2$$

$$ME = \frac{1}{2} BC = \frac{1}{2} \times 12 = 6$$

$$\text{よって、} MN = ME + EN = 6 + 2 = 8 \text{ cm}$$